

## 例1: 「しばたレストラン」

作文

基礎

中等プログラム 5年

基準	A	B	C	D	E
得たレベル	-	-	7	8	-

### 背景

- この課題は中等プログラム (MYP) 五年目の一学期の初めに実施したものである。日本料理のレストランを訪ねるという単元の最後のものである。生徒は実際にレストランに行って食事をした。これはほとんど全員にとって初めての経験であった。
- 準備として一時間使い、前もって課題の内容を説明した。また生徒からの質問に口頭で答えた。生徒は一晚使って作文の内容を考え、A5サイズのメモを準備した。教師側は生徒が自分の力で考えるよう十分配慮した。
- 課題は制限時間40分、試験監督の下で取り組んだ。A5サイズのメモは持ち込み可としたが、メモの文は最高10文までとした。
- この課題は基準C及び基準D内で評価してある。
- 問題は試験用紙の上部に書かれている。作文の必要最低字数は300字である。

### 評価

#### 基準C 内容と構成

最高レベル8

この作品がレベル7を得た理由は以下の通りである。

- 課題の必要条件に合わせていろいろな情報を書いている。
- テーマに沿った内容で少し詳しく述べられた部分もある。
- 筋道の通った内容で基本的な接続詞も用いてある。

以下の項目が習得できていれば同生徒はより高いレベルに達したと思われる。

- 内容をもっと詳しく述べたり、理由を加えたりする。テスト前に準備をする時間があり、メモも持ち込み可能なことから、そうでない場合より、内容の質がもっと高くなければならない。それゆえ、詳細と理由付けがもっと必要である。
- 文章の流れを滑らかにするために接続詞をもっと加える。

#### 基準D 言語

最高レベル8

この作品がレベル8を得た理由は以下の通りである。

- 誤りがたまに見られるが文章の流れを妨げるほどではない。カタカナとひらがな、基本の漢字が正しく使われている。
- 形容詞や動詞の過去形といった初歩の文法事項が正しく使われている。助詞の使い方もほとんど正しい。
- 基本的な語彙を駆使している。

## 生徒回答

Last week we went to a Japanese restaurant for lunch. Write a report about this trip. You must write at least 300 characters. You may use your summary notes to assist you in this assessment task. When you write your report consider the following

- When did you go to the restaurant?
- Where was the restaurant?
- What was it called?
- What kind of restaurant was it?
- How did you travel to the restaurant?
- Who did you go with?
- What did you eat/drink?
- How much did your lunch cost?
- How would you describe the excursion?
- Would you go again?

### Student A 「しばたレストランのレポート」

せんしゅうの水曜日のごご、ともだちとしばたレストランに行きました。三月三日、12時から2時半まででした。ノース・アデレードのメルボルン・ストリートに行きました。バスで行きました。クラスメートはうるさかったです。レストランとひるごはんを食べました。そして、すてきでした。

まきずしとやきとりを食べました。いちばんすきなたべものは、さしみです。みそしるをのみました。おいしかったです。でもわさべはおいしくなかったです。デザートはバニラアイスでした。レストランでともだちとなりにすわいました。日本語をはなしました。ランチセットは十二ドルです。たかかったです。

しばたレストランはとてもたのしかったです。また行きたい。